

嶋谷市左衛門小笠原諸島巡検 350 周年記念事業 第 3 回 事業部会 会議概要

- 1 日時 令和 7 年 4 月 28 日（月）16：30～17：00
- 2 会場 小笠原村役場会議室
- 3 出席委員 宮城委員、延島委員、吉井委員、織田委員、小関委員、上原委員、柏木アドバイザー
事務局 持田教育課長、亀山係長
- 4 会議の内容

（1） 第 1 回事業部会会議概要の確認

（2） 第 2 回事業部会会議概要の確認

「無人島」の表現の仕方について、上原部会長が「口頭で表現するときには『むにんしま』または『むにんじま』と読むこととする。しかし、文献を見てもルビが振られていないため、文章にするときにはルビを振らずに『無人島』と記述する。」とまとめたことに対し、「1. 古文書で、ふりがながふられているものがある。 2. それを調べたところ、むにん のふりがなはあるが、ぶにん のものはみつからなかった。 3. むにん＝人がいない、ぶにん＝ひとがいなくてさびしい、人手がない」と意味が違う。ぶにん島という使い方はなかったと考えられる。

4. 村の公式見解は、前年 9 月議会での前教育長のぶにん島発言である。これを改め、周知すべきである。添付資料、を参考にしてほしい。 前回の会議で、むにんのルビはふらない ときまったとすると、その日の延島の発言は、無視され、切り捨てされたということになる。

会議は積み上げである、切り捨てごめんを容赦するわけにはいけないので、次回会議で問題を取り上げてもらいたいと思う。」という反対意見が寄せられた。

（3） 嶋谷市左衛門小笠原諸島 350 周年記念事業計画（案）の確認

（4） 嶋谷市左衛門小笠原巡検 350 周年記念事業スケジュール（案）の確認

（5） 柏木アドバイザーからの資料紹介

- ・「西伊豆 堂ヶ島のモニュメント」の紹介
- ・文献（史料・論文）、（辞典・一般書）の紹介